

工作実習 (Manufacturing Engineering Practice IV)

担当教員名	大森 茂俊	
学科・専攻、科目詳細	機械工学科 4年 通年 2単位 実習	
学科のカリキュラム表	専門科目 必修科目	
共生システム工学の科目構成表	専門工学科目 実務系	
学習・教育目標	共生システム工学	F-2(60%) G-1(40%)
	JABEE基準1(1)	(f)(g)
科目的概要	1~3学年で学習した実習の応用として、生産を意識した実習を行う。さらに各種作業を効率的に行うための生産方式の選択能力を養い、生産管理能力や問題意識および解決能力の育成にも努める。	
テキスト(参考文献)	プリント配布	
履修上の注意	技術者として『物』を生産する能力を身に付けるため、自ら問題意識を持ち積極的に考え、正しい解決をする能力を培うよう心がける	
科目的達成目標	(1)CADや加工の概念を理解し、設計から生産までのプロセスを理解する(学習・教育目標F-2) (2)生産におけるコストや品質を踏まえた手順書、行程表を作成できる(学習・教育目標G-1)	
自己学習	指導教員が適宜指示する。	
目標達成度(成績) の評価方法と基準	合格の対象としない欠席条件(割合)	1/3以上の欠課
	レポート(期日・内容等)60%、出席30%、その他(取組姿勢・協調性等)10%の総合で評価し、60%以上を合格とする。 実技科目は継続性があるため欠席した場合、必ず追実習を受講すること。	
連絡先	ohmori@akashi.ac.jp	

授業の計画・内容	
第1週 安全教育-1	
第2週 安全教育-2	
第3週 生産総合実習(計画) -1	生産システムのマネージメントなど総合的な基礎を修得する
第4週 生産総合実習(計画) -2	生産システムのマネージメントなど総合的な基礎を修得する
第5週 生産総合実習(計画) -1	コストと品質、作業効率などの関連性を理解する
第6週 生産総合実習(計画) -2	コストと品質、作業効率などの関連性を理解する
第7週 生産総合実習(加工・評価) -1	加工上の効率阻害要因(無駄)など実習を通じて作業分析を行う
第8週 レポート作成	レポート作成
第9週 生産総合実習(加工・評価) -2	加工上の効率阻害要因(無駄)など実習を通じて作業分析を行う
第10週 生産総合実習(加工・評価) -1	実習データに基づき分析能力および問題意識を培う
第11週 生産総合実習(加工・評価) -2	実習データに基づき分析能力および問題意識を培う
第12週 生産総合実習(加工・評価) -1	完遂までの責任と自覚を修得する
第13週 生産総合実習(加工・評価) -2	完遂までの責任と自覚を修得する
第14週 生産総合実習(加工・評価) -1	コストおよび工程管理など計画と実績との比較を行ない纏める
第15週 工場見学	
期末試験実施せず	

授業の計画・内容
第16週 生産総合実習(加工・評価) -2 コストおよび工程管理など計画と実績との比較を行ない纏める
第17週 3D-CAD応用実習 -1 2D-CADと3D-CADの違いを理解し,3D-CADの概念を習得する
第18週 3D-CAD応用実習 -2 2D-CADと3D-CADの違いを理解し,3D-CADの概念を習得する
第19週 3D-CAD応用実習 -1 アセンブルおよび構造解析を習得する
第20週 3D-CAD応用実習 -2 アセンブルおよび構造解析を習得する
第21週 3D-CAD応用実習 -1 3D設計および構造解析を用いて課題を製作する
第22週 3D-CAD応用実習 -2 3D設計および構造解析を用いて課題を製作する
第23週 レポート作成 レポート作成
第24週 3D-CAD応用実習 -1 3D設計および構造解析を用いて課題を製作する
第25週 3D-CAD応用実習 -2 3D設計および構造解析を用いて課題を製作する
第26週 3D-CAD応用実習 -1 3D設計および構造解析を用いて課題を製作する
第27週 3D-CAD応用実習 -2 3D設計および構造解析を用いて課題を製作する
第28週 3D-CAD応用実習 -1 製作した課題をプレゼンし,評価する.
第29週 3D-CAD応用実習 -2 製作した課題をプレゼンし,評価する.
第30週 工場見学
期末試験実施せず